

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしつかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

大川の滝

宇房中学校 三年 青木 優作

かなさんは大川の滝を見古ことがあります
 か。僕が初めて見たのは五歳のときでした。
 五歳のときの記憶ははっきりとていえないの
 です。加太川の滝を初めて見たときは賞
 えていきます。家族と一緒に来ました。
 滝の前の手前の岩までいくと、霧吹きのよう
 な水しぶきが冷たくて気持ちよかったです。
 そして最も驚いたのは、その高さの音でした。

中学校

高さは僕の家の何倍もあり、音はくかのあ
 るとても力強い音でした。

僕は二の大川の滝にいくつもの疑問が浮か
 びてきたのです。

一つ目は大川の滝の周辺の木はどんなか。

二つ目は落差はどのくらいあるのか。

三つ目はどんなにいきおいよく水が出るのか。

なぜ岩はけずれないのか。

四つ目は水がなぜ絶えず落ちているのか。

について調べてみました。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

一つ目の疑問 大川の滝の周辺の木はどんな種類があるかでした。大川の滝周辺の木は照葉樹林でした。

二つ目の疑問は大川の滝の落差。八十八メートルです。ハチハチメートルもの高さからある水は、追分のある者や水しぶきになることに納得がいきました。

三つ目の疑問は大川の滝はどんなにいきおいよく水が落ちるかにあつても、岩はなかなか崩れないうのかがでした。

中学校

それは大川の滝周辺はホルンソフエールと呼ばれる堆積岩でできています。そのため非常に硬くけずれにくいからです。屋久島には多くの種類の岩があることも初めて知りました。

四つ目の疑問は大川の滝はなぜあんな勢いよく水が大量に出ていけるのか。水が絶えず流れていけるのは、

それは、屋久島は月に三十五日雨が降ること。あつても、雨が多い島だからです。一里が降りていけるのは、古くしてても山は必らずに

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使わきましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



